

語り部及び解説ボランティア研修会を開催しました。

7月22日（土）14時より、語り部と解説ボランティアの方々を対象とした研修会を開催しました。この研修会は、語り部と解説ボランティアの方々の知識や講話・解説技能の向上等を目的として、毎年開催しているものです。

前半は、元富山市立富山外国語専門学校教授の神保正氏より「英語であいさつしよう」というテーマで研修を行いました。開館以来、海外からの見学者も増えていることから、特に英語でのコミュニケーションを図り、今後の活動に役立てていただけることができるよう、あいさつや自己紹介を中心とした簡単な英会話を学びました。

語り部らは、最初は発音に戸惑う場面も見受けられましたが、神保氏の指導のもと繰り返し発音されることで次第に流暢になり、最後は英会話を楽しんでおられるように感じました。

後半は、医学講座として「イタイイタイ病は何故に女性に多いのか」をテーマとして鏡森館長による講演がありました。当時の関係者等の見解の歴史を振り返りつつ、妊娠・出産とイタイイタイ病との関係についての詳細な説明に語り部らは真剣に耳を傾けておりました。

このように、今後の語り部講話やボランティア活動を含めた資料館運営に役立つ、有意義な研修会となりました。



神保元教授による英会話の研修



鏡森館長による講演

子どもたちの「学び」の成果をご覧ください。

開館以来、県内のみならず県外や外国より多くの子どもたちが来館され、イタイイタイ病のほか環境や健康についての「学び」を深めておりますが、これまで延べ84校（今年度は、6月末現在4校）より資料館見学を受け学習成果としてまとめた資料や感想文やレポート、壁新聞などの資料を提供いただいております。

資料館では、こうした資料を2階の資料閲覧室にて来館された皆様に広く紹介しております。

特に壁新聞では、子どもらしいイラストが盛り込まれ、色鮮やかなデザインで紙面づくりがされていますが、イタイイタイ病に対する思い思いの感想も綴られており、来館時にしっかり学んだ様子を伺うことができます。

資料館へお越しの際は、子どもたちの学びの証ともいえるこれらの「力作」を是非ご覧ください。

